

「江戸川区橋梁等長寿命化修繕計画（更新案）」の意見募集結果について

「江戸川区橋梁等長寿命化修繕計画（更新案）」に関する意見募集手続きは、令和8年2月15日から3月16日までの期間で行いました。その際、4名より計4件のご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見及び区の考え方は、以下の通りです。

1 意見募集手続きの概要

(1) 意見募集期間

令和8年2月15日から3月16日までの間

(2) 周知方法

ア 区公式ホームページに掲載

イ 令和8年2月15日号の「広報えどがわ」に掲載

※土木部保全課窓口に関連用の印刷物を設置

(3) 意見の提出方法

ア 区公式ホームページ

イ 持込み又は郵送

(4) 提出先

土木部保全課設計係

2 意見募集の結果

	ご意見	区の考え方
1	素晴らしいと思います。	今後も適切な維持管理を行ってまいります。
2	江戸川区橋梁等長寿命化修繕必要だと思えますが人口も増えていますので渋滞緩和対策も並行して進めていただきたいと思います。 国道357号線の新木場から葛西の環七にかけて夕方渋滞がすごいで別のルートを作成していただきたいと思います。	ご意見として承ります。

<p>3</p>	<p>事後保全型から予防保全型の修繕及び架替えへの転換は良い事のように思われる。</p> <p>新技術等の活用方針についても、積極的に新技術等を活用して効率化・コスト縮減を図ることは良いと思う。</p> <p>新技術を活用することにより、これまで発見できなかった劣化や予兆を早期に発見できる可能性にも期待できる。</p> <p>ただし、管理コストの縮減が第一の目的ではなく、あくまでも安全の維持・確保が第一でなければならない。</p> <p>区では陸上競技場や競技場のスタジアム化やアリーナ建設等のいわゆるハコモノの建設が複数計画されているが、それらは後回しもしくは計画中止でもよい。こういった基礎的なインフラの維持管理にこそしっかりとお金を使うべき。</p> <p>「集約化・撤去は、区民生活に大きな影響を及ぼすことから、本計画では予定しない方針」にも賛成。</p> <p>「直近 10 年間に計画している橋梁の修繕・架替えに係る全体概算事業費は、約 73 億円です。」とあるが、</p> <p>一方で新庁舎建設に関しては昨年末に約 84 億円を積み増した。新庁舎建設の概算費用がどれだけ莫大な規模で上振れしているかを端的に示す数字だと思う。新庁舎建設こそ計画の中止や少なくとも見直しを図り、コスト縮減につとめて、その分の予算・積立金をこういった重要な基礎的インフラの点検・修繕に充てるべき。</p> <p>そうすれば更に丁寧かつ細やかな維持保守を実施することができ、安全確保の確実性が向上すると思われる。</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。引き続き、予防保全型の修繕及び架替えを進めてまいります。</p>
----------	--	---

4	<p>◆P4で令和8年度～17年度までに計画している橋梁の修繕・架替えに係る全体概算事業費を、約73億円としています。計画の全体を概算したものなのか、各事業ごとの想定額を合算したものなのか、算定の考え方を示してください。</p> <p>◆P5の表2で、判定区分Ⅲのうち、瑞江大橋と船堀四丁目横断歩道橋については、修繕や架け替えの時期が示されていますが、新川口橋については何も示されていないのはなぜですか？</p>	<p>4頁に記載している「約73億円」は、令和8年度から令和17年度に計画している修繕・架替えに係る費用を橋梁毎に算定した上で、それらを合算して算定しています。</p> <p>5頁の表－2下部に記載のとおり、新川口橋の工事時期については、都市計画道路補助第289号線整備の進捗状況により調整します。</p>
---	--	---